

令和7年度全国学力・学習状況調査について

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃、本校の教育活動にお力添えをいただきまして、まことにありがとうございます。

さて、下記のとおり、令和7年度全国学力・学習状況調査結果及び分析・考察した内容についてお伝えいたします。

記

1 全国学力・学習状況調査とは

全国学力・学習状況調査は、小学6年生と中学3年生を対象に行われている調査です。文部科学省及び県・市教育委員会が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る目的で行われています。

2 堀之内小学校の結果分析・考察

(1) 教科に関する調査（平均正答率の比較） ◎高い ○やや高い ▽やや低い ▼低い

国 語	全 体	知識・技能			思考力・判断力・表現力等		
		言葉の特徴 や使い方	情報の 扱い方	我が国の 言語文化	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと
全国との比較	○	○	◎	○	○	○	◎
県との比較	◎	◎	◎	◎	○	○	◎
算 数	全 体	数と計算	図形	測定	変化と 関係	データの 活用	
		全国との比較	同じ	▽	○	◎	◎
		県との比較	○	○	◎	◎	◎
理 科	全 体	エネルギー	粒子	生命	地球		
		全国との比較	○	○	▽	○	○
		県との比較	○	○	○	○	○



<堀之内小の国語について>（○正答率が高い ●正答率が低い）

○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。【問題番号1の二】

○時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体をとらえることができる。【問題番号3の一】

●書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。【問題番号2の一】

●目的に応じて、文章と図表を結びつけるなどして必要な情報を見付けることができる。【問題番号2の三(1)(2)】

<今後の国語の学習について>

目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりするなど自分の考えが伝わりやすいように工夫することができるような取り組みを行う。また、文章中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりする活動を行う。

＜堀之内小の算数について＞ （○正答率が高い ●正答率が低い）

○角の大きさについて理解している。

【問題番号 2(3)】

○ともなって変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができる。

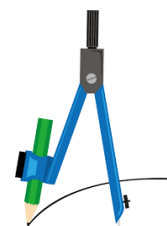
【問題番号 4(1)】

●五角形の面積を求めるために五角形を二つの図形に分割し、それぞれの図形

の面積の求め方を数や言葉を使って記述することができる。【問題番号 2(4)】

●分母が異なる分数のたし算について、数や言葉を使って計算の仕方を記述することができる。

【問題番号 3(2)】



＜今後の算数の学習について＞

身に付けた知識を深めたり、技能を活用したりする力を付けていきたい。そのために計算の仕方を考えたり、図形の面積を求めたりするときには、順序立てて数や図を使いながら言葉で説明できるようにしていく。

＜堀之内小の理科について＞ （○正答率が高い ●正答率が低い）

○電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻き数によって変わることが理解している。

【問題番号 2(3)】

●身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引きつけられる物があるあることの知識が身に付いている。

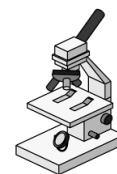
【問題番号 2(1)】

●顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いている。

【問題番号 3(2)】

＜今後の理科の学習について＞

自然の事物・現象と知識を関係付けたり、知識を相互に関係付けたりして理解を深められるようにしていく。また、自然の事象・現象を比較し、差異点や共通点をもとに問題を解決する学習を行っていく。



左のQRコードより
問題、正答例、解説を
見ることができます。

（2）質問紙調査（全国、県平均と比べて +…大きく上回る -…下回る）

+自分にはよいところがある。

+友達関係に満足している。

+普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。

+学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている。

+理科の授業では、問題に対してどのようになるか予想を考えている。

-自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。

-国語、算数、理科の解答する時間は、十分足りた。

＜質問紙の結果から＞

堀之内小の子どもたちは、自他のよさを認め、豊かな人間関係をつくりながら生活していることが分かった。しかし、学習面で自分の伝えたいことを分かりやすく伝えたり、言葉で表現したりすることに苦手意識が見られた。今後は、自分の思いや考えを積極的に伝え合えあったり、子どもたちのよさや学びを高め合ったりできる集団にしていけることが必要である。

担当 教務主任（八塚）
電話番号 35-2108